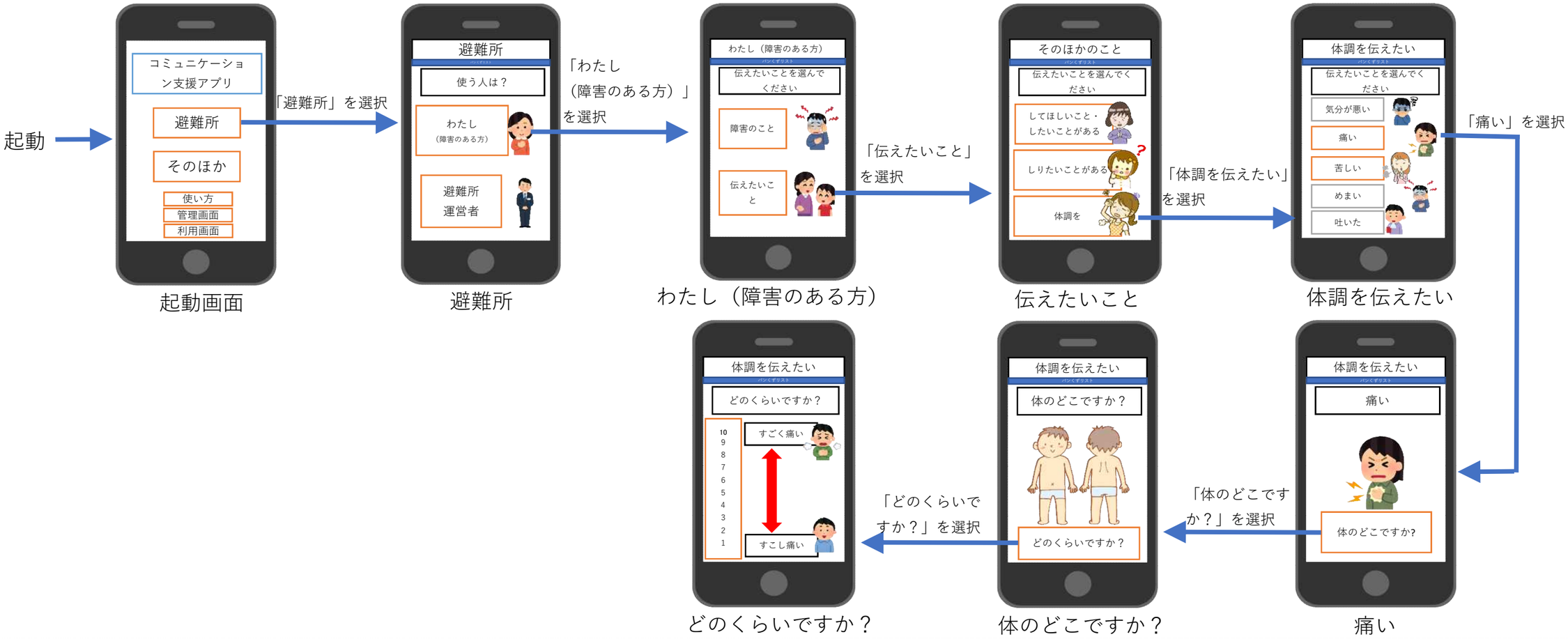
資料２－２

コミュニケーション支援アプリの本設計案について

○概要：　主に避難所での生活場面において、日本語の会話によるコミュニケーションに支援が必要な方（聴覚に障害がある方、知的障害や発達障害のある方、高齢などで聞こえにくい方など）の利用を想定し、文字やイラストを用いて情報の伝達や意思表示を行う「コミュニケーション支援ボード」を利用できるスマートフォン及びタブレット用のアプリを開発する。

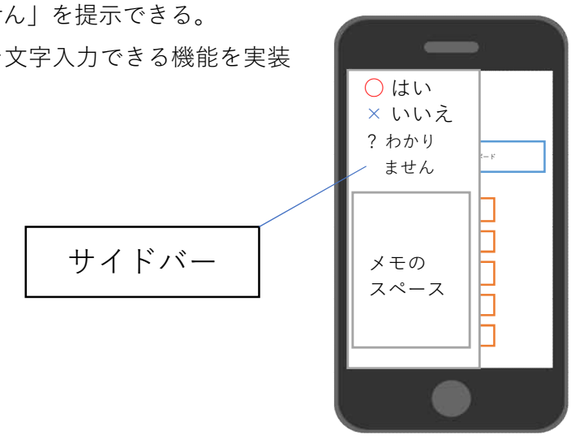
●画面遷移イメージ（例：「体調（体が痛いこと）」を伝えたい場合）



●サイドバー機能（案）

・どの場面からも，画面の左端を左から右にスワイプすると「○はい」　「×いいえ」「？わかりません」を提示できる。

・簡単なメモを文字入力できる機能を実装する。



●パンくずリスト機能

・現在の階層を示す「パンくずリスト」を各画面の上部に表示する。

　例えば、上記の画面遷移イメージの最後の「どのくらい？」の画面の場合、「トップ＞避難所＞わたし（障害のある方）＞伝えたいこと＞体調＞痛い＞どこ？＞どのくらい？」と画面上部に表示される。

・選択したリストの画面に移動することができる

　「どのくらい？」の画面で、リストの「伝えたいこと」を選択すると１つずつ戻ることなく直接「伝えたいこと」の画面を表示することができる。

●個人カスタマイズ機能（案）

・迅速かつ適切な対応が必要とのご意見を踏まえ、よく使う画面のリストを作成できる機能を実装する。